

議会 ながのはらまち だより

2025
JANUARY
1
No.142

12月定例会の内容をお伝えします



表紙：どんどん焼き（北軽井沢地区）（詳細は16頁）



QRコードから議会
だよりをダウンロー
ドできます



12月定例会で こんなことがまりました

○12月定例会（会期12/3-12）

専決処分		1 件
条例制定・改正		5 件

補正予算		8 件
その他		4 件

主なものを当分より掲載します。

合 計		1 8 件
-----	-------	-------

定例会 2 日目には令和 6 年度一般会計補正予算や 4 特別会計、3 事業会計の補正予算などの審議が行われ、全議案を原案のとおり可決しました。

今回開かれた 12 月議会定例会では、条例制定・改正 5 件、地域振興施設の指定管理者の指定 2 件など全議案を原案のとおり可決しました。

全議案 原案のとおり可決

令和 6 年 12 月第 4 回長野原町議会定例会は会期を 12 月 3 日から 12 日までの 10 日間として、同月 3 日・12 日に本会議を開催しました。

12月定例会で 全案件可決



また、11 月 20 日までに受理された請願・陳情 6 件は文書配布および総務文教常任委員会へ付託としました。（関連 5 ページ）なお、一般質問は 6 名が登壇し、質問を行いました。（関連 9 ページ、15 ページ）

■ 12月定例会で可決した議案一覧

議案番号		議 案 名	内 容	関連
承認	1号	専決処分の承認 (令和6年度一般会計補正予算)	衆議院議員総選挙執行に伴う所要の経費の補正を行う必要が生じたため補正するもの	5
議案	1号	オークワテラスの設置及び管理に関する条例制定	オークワテラス(旧応桑小学校利活用)の事業開始に向け、設置や管理などの規定を整備するもの	4
	2号	川原畑地域振興施設の指定管理者の指定	団体名 株式会社やんば 代表取締役 中島 泰氏を令和7年4月1日より5年間指定管理者とするもの	
	3号	川原湯地域振興施設の指定管理者の指定	団体名 株式会社NOA 代表取締役 樋田 省三氏を令和7年4月1日より5年間指定管理者とするもの	
	4号	給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に伴い、職員の期末手当などを引き上げるもの	—
	5号	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部改正		
	6号	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正		
	7号	職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正		
	8号	令和6年度一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出予算の総額に1億7889万7千円を加え、総額を52億9849万8千円とする	5
	9号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に609万9千円を加え、総額を7億4530万5千円とする	
	10号	令和6年度へき地診療所特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に48万円を加え、総額を1億1861万8千円とする	
	11号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に97万9千円を加え、総額を7億1934万7千円とする	
	12号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に171万円を加え、総額を1億1466万8千円とする	
	13号	令和6年度水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入支出の合計額に1215万9千円を加え、合計額を3億543万8千円とし、資本的支出に1340万円を追加し、不足する資本的収入は他会計補助金で補填する	
	14号	令和6年度浅間高原水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入支出の合計額に370万円を加え、合計額を5368万8千円とし、資本的支出に330万円を追加し、不足する資本的収入は過年度分損益勘定留保資金で補填する	
	15号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収入支出の合計額に74万2千円を加え、合計額を4億6300万9千円とする	
選挙	1号	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	任期満了に伴い、委員及び補充員の選挙を行うもの	4
発委	1号	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書の提出について	国に意見書を提出する	—

条例制定

オークワテラスの 設置及び管理

町民は原則 無料で使用可能

旧応桑小学校の利活用であるオークワテラスの事業開始に向け設置及び運営に必要な事項を規定しました。
施設の構成や使用料については左表のとおりとなります。

■施設の構成と使用料

1	へき地診療所
2	交流スペース
3	地域コミュニティスペース ■使用料（1時間あたりの単価） 営利目的町内者 1,000円 町外者 1,300円※
4	テナントスペース ■使用料（月）100,000円以下
5	教育関連施設
6	公園
7	その他地域振興等に必要な機能

※営利目的町外者の場合は5割増

選挙

選挙管理委員会 委員及び補充員を決定

選挙管理委員会委員及び補充員の任期満了に伴い、議長の指名推選により、次のとおり当選人が決定しました。

■選挙管理委員及び補充員一覧

【委員】		【補充員】	
氏 名	地区名	氏 名	地区名
萩原 昇	横 壁	綿貫 とみ子	川 原 畑
今村 敬二	大 津	佐藤 四郎	長 野 原
永井 芳司	北 軽 井 沢	青木 元	北 軽 井 沢
萩原 準	応 桑	安田 勝	北 軽 井 沢

指定管理

川原畑・川原湯地域振興 施設の指定管理者の指定

八ッ場ダム水没地域の地域振興に資するために設置した地域振興施設の指定管理期間満了に伴い、左表のとおり指定管理者とするものです。

■各施設の指定管理者

（※指定管理期間は令和7年4月1日～令和12年3月31日）

地 区	名 称	指定管理者
川 原 畑	やんば茶屋	株式会社やんば 代表取締役 中島 泰
川 原 湯	川原湯温泉 あそびの基地NOA	株式会社NOA 代表取締役 樋田省三

補正 予算

ふるさと応援基金費など 増額

ふるさと納税



一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

■ 12月定例会（12/3・12）

一般会計補正予算（第3号）[専決処分]

567万円増額（計51億1960万円）

一般会計補正予算（第4号）

1億7889万円増額（計52億9849万円）

■ 特別会計補正予算一覧表

特別会計名	補正額	補正後総額
国民健康保険	609万円	7億4530万円
へき地診療所	48万円	1億1861万円
介護保険	97万円	7億1934万円
後期高齢者医療	171万円	1億1466万円

■ 公営企業会計補正予算一覧表

会計名	補正額	補正後総額
水道事業会計	収益の収入	1215万円
	収益の支出	1215万円
	資本の収入	1340万円
	資本の支出	1340万円
浅間高原水道事業会計	収益の収入	370万円
	収益の支出	370万円
	資本の支出	330万円
下水道事業会計	収益の収入	74万円
	収益の支出	74万円

国へ意見書提出

11月20日までに受理された請願・陳情5件は、12月議会定例会（3日）に総務文教常任委員会へ付託され、同日開かれた総務文教常任委員会にて審議されました。審議結果については下表のとおりです。

■ 請願・陳情の審査結果一覧

受理番号	件名	提出者	結果
9号	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める陳情	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	採択 (意見書提出)
10号	障害福祉サービス事業所やまどりの指定管理に関する請願	浅見 豊子 他3名	趣旨採択
11号	古森地区公民館トイレ改修工事の陳情	羽根尾区長 櫻井 秀樹	不採択
12号	大津多目的集会施設の照明器具のLED交換工事に伴う費用補助についての陳情	大津区長 櫻井 敏雄	不採択
13号	応桑区多目的集会施設の電気照明設備改修工事費の補助金の交付についての陳情	応桑区長 都丸 斉	不採択

請願・陳情



行ってきました!

行政 視察

埼玉県寄居町

議会行政視察を10月15日～16日（1泊2日）に実施し、初日に埼玉県寄居町の議会だよりの編集について視察を行いました。

寄居町議会の広報誌「お元気ですか寄居議会です」は平成9年5月より創刊され、全国町村議会広報コンクールにおいて平成29年度から令和5年度までの7回のうち、6度の最優秀賞に輝いています。

「読まれる」ことに 最重点

概要

読まれない
議会だよりに
出す意味なし!!

寄居町議会では、日本一クオリティの高い議会だよりを目指し、「議会だよりは議会改革のツール」と位置づけ、町民への積極的なアプローチを図り、常に町民が町政に参画できる窓口を開いています。また、年間の議会の流れと政策サイクルを意識した編集を心がけ、「議員活動の見える化」を推進しています。

◎動画と連携を強化

審議結果だけでなく、審議経過を分かりやすく伝えるために、町民の関心が高いと思われる議案等に優先順位をつけ、写真やQRコードを活用し、様々なメディアを駆使して記事を補完する工夫がなされています。

◎KOE METER

編集方針として「町民参加」を打ち出し、多くの町民が登場しています。



行政視察レポート
富澤 重男 議員

寄居町の広報は直近10年間で最優秀賞6回、優秀賞1回、優良賞他3回と常に上位であります。広報委員は8名おり「読まれない議会だよりは出す意味なし、日本一クオリティの高い議会だよりを目指す」を旗印に編集しております。全てが町民目線、町民主体にて取材、構成、編集を委員が行っております。あらゆる個所に町民を登場させ、写真、談話、意見等を掲載しています。1万3千部発行し配布しています。が講読率は判りません。は当人が原稿執筆、問答については各セクション



行ってきました!

行政 視察

埼玉県三芳町

議会行政視察2日目には同県の三芳町を視察しました。

同町は首都圏から30kmに位置し、埼玉県入間郡の南部、武蔵野台地の北東部にあたり、面積15.33km²、人口3万7439人(令和6年10月末日現在)の町であります。みどり豊かな武蔵野の雑木林や三富新田に代表される田園風景が広がる自然と都市機能が調和した「トカイナカ」です。

議会におけるデジタル 技術の活用について

概要
開かれた議会の
ために

民に「開かれた議会」の
ためYouTubeチャンネルも
開設し本会議のライブ配
信も行っています。

三芳町議会は町民に開かれた議会をめざし、平成22年に議会基本条例と議員政治倫理条例を制定するなど、議会改革を進めています。

経緯
デジタル化へ

令和3年3月にオンライン委員会開催に向け条例改正を行い、同年4月には正式なオンライン委員会を開始しています。

また同年12月より完全ペーパーレス化を視野に入れ、会議システムも導入しています。さらに住



行政視察レポート
土屋 匡 議員

三芳町議会におけるデジタル化のきっかけは、議会改革の一環として平成22年にスタートした。平成27年から会議資料等の閲覧を目的としたタブレット機器等の議場への持ち込みを許可。令和3年12月定例会よりペーパーレス化を視野にタブレットを導入し、基本的に紙ベースでの配布はしない仕組み。当町においても、昨年12月定例会からタブレット端末を導入したところであるが予算書は紙ベースでの配布をおこなっている。導入済の他町村でも同様の対応が多い様子である、三芳町議会ではPC等を持ち込み可能として複数のデジタル機器を使用し、ペーパーレスとしている。議会委員会条例の改正等

課題はあるが興味深い取り組みと考える。また、令和3年3月より防災時にオンラインによる委員会の開催が可能となったそう。Zoomを利用したオンライン会議は、各委員会を含めコロナ禍においてかなりの回数が開催された。有事にはかなり有効なシステムと思われる。使いこなすことや発言方法等にも慣れが必要とのことではあるが、非常時以外にも活用できるシステムであると思う。当町においても、議会のデジタル化により資料の作成や配布といった事務局の負担軽減、ペーパーレスによる経費の削減に加え、資料の整理・保管等スムーズな活用が推進できればと考える。

R6
11/5**群馬県町村議会議員研修会**

場所：玉村文化センター

11月5日（火）、玉村町文化センターにおいて群馬県町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

県内各町村の議会議員が参加し、講師にお招きした中村健氏と鍵屋一氏による各講演に熱心に耳を傾けました。

R6
10/18**吾妻郡町村議会議員研修会**

場所：@長野原大ホール

10月18日（金）、@長野原大ホールにおいて吾妻郡町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

吾妻郡内各町村の議会議員が参加し、講師に群馬県知事の山本一太氏をお招きして「新・群馬県総合計画（ビジョン）2040年に向けた政策の方向性」についてご講演いただきました。

**あなたも議会を傍聴しませんか**

次回定例会

3月 5 日 (水)**12日 (水)****19日 (水)**

※発行日現在の予定

議会定例・臨時会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴される方は、議会開催日に直接議場までお越しください。受付簿に氏名など必要事項を記入の上、傍聴してください。予約は不要で会議中の入退室も自由です。

一般質問 町の考えを問う

はぎわら ひろみ
萩原 広美 議員 (10ページ)

・長野原のきこえの問題について

すぎざき よしひさ
杉崎 能久 議員 (11ページ)

・若者に選ばれる町づくりについて
・情報発信のあり方について

ほしかわ あきひこ
星河 明彦 議員 (12ページ)

・第2期長野原町まち・ひと・しごと総合戦略の達成度と私が注視する5つの事業の次年度以降の取り組みについて

あさぬま かつゆき
浅沼 克行 議員 (13ページ)

・PTA活動の今後のあり方と町の現状について

まきやま あきら
牧山 明 議員 (14ページ)

・町、議会は各種団体、住民と共働で住みよい町づくりを急ぐべき

ゆもと そういち
湯本 宗一 議員 (15ページ)

・災害時の対応とインフラ整備について

YouTubeで一般質問の様子を
ご覧いただけます



一般質問とは。
議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただすこと。報告や説明を求めることです。
12月定例会では6人の議員が登壇し、情報発信やインフラ整備などについて質問を行いました。
ここでは、質問と答えを要約した内容(10ページから15ページ)をお知らせします。



長野原の きこえの問題について



はぎわら

ひろみ

萩原

広美

議員

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

拡充に努めていく

問

人生100年と言われる昨今生涯医療費が2700万円町負担の医療費は14億4200万円余りで、90%弱が高齢者の医療費となります。不健康寿命は8、9年と言われ食事運動コミュニケーションが大事だと聞きます。そのコミュニケーションを円滑に行う上で補聴器の存在意義は大きいと思います。聴力低下の原因は、加齢性難聴が主で75歳以上の34%又30代後半でも聴力低下が始まっている可能性があります。聞こえのトラブルを防ぎ、健康寿命を伸ばす為にも高齢化が進んでいる現在補聴器の需要が高まることが予想され、より多くの住民が助成を受けられるような政策が必要ではないかと考えま

すが、町の見解をお伺いします。

答

町長 厚労省では、健康寿命の延伸を目標に掲げており、生活習慣の改善が必要とされています。

高齢者の補聴器の補助ですが、町に障害者手帳の申請を行い、補助を行う制度があります。今後高齢化で増える可能性がある対策については、地域住民のニーズや近隣町村の動向を見極めつつ検討して参ります。

問

補聴器ですが、1台あたり10〜30万円となっています。町でも昨年難聴児の申請が0件、補聴器補助が2件あると聞いております。65歳以前の方を含めた補聴器の

助成に対して前向きに検討をいただきたい。

答

町長 前向きに検討。



問

長野原町が独自助成を行うことが障害手帳を受けるほどでもない方の補聴器購入の後押しになる事と思います。

答

町長 この一般質問は一通目の萩原議員の質問で課題を提起し、結論を述べ、政策まで提案して完結しています。これは単なる要望であり、一般質問では控えていた

だいたいと思います。補助金は町民にとって、良いか悪いかで言えば良いことです。それに

対して、この場でやるか、やらないかの議論は不毛なやり取りで、もっと建設的な議論の場にしたいです。例えば、この世の中は耳が良く聞こえない人など、弱い方や数の少ない方達が周りに合わせなくてはならない傾向があります。そうではなくて、受け入れる周りの人間の意識の方が重要であり、双方が歩み寄れるようなコミュニケーションや居場所づくりをどうやったら築いていくことができるか？萩原議員とは、そういうことを、この議場で言葉を交したい。





すぎざき よしひさ
杉崎 能久 議員

①若者に選ばれる町づくりについて ②情報発信のあり方について

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

①希望を持って暮らしていける地域づくり ②情報が伝わる方法を模索中

①若者に選ばれる町づくりについて

問 人口流出を防ぐため首都圏に本社がある企業の誘致を促す等、若者に選ばれる町づくりをしていく必要がある。

答 町長 希望を持って暮らしていける地域づくりが重要。

問 若年層にターゲットを絞った町のPRを実施しては。東京から2時間以内で来れるのは大きな強み。

答 町長 単に企業誘致をするのではなく、この町の自然や環境、生きていくことの素晴らしさを全面的に発信していくべきではないか。杉崎議員はいいモデル。私の隣にいる梶野もそう。青

問 森で生まれ育ったラガーマンがなぜ副町長をやっているのか。Uターンをした人間、ここに移住してきた人間である我々が積極的にその体験を発信していくことは非常に重要。

答 町長 町内ですべてが完結できなくても良いと私は考える。住む場所は長野原町で、

問 長野原町の環境や人は確かに素晴らしいが、長野原町をより便利にするための努力は怠ってはいけない。町内で所用を完結できる仕組みはあっている。町をいかに発展させていくのか考えるのが大事。いま町には本当に面白い方々が増えてきている。クリエイティブな人材を町から離れさせてはいけない。

答 町長 町内ですべてが完結できなくても良いと私は考える。住む場所は長野原町で、

問 働き場所とは他の市町村でも良い。ものごとを俯瞰して見ると、もっと幅広く考えられるのではないか。長野原町は便利さよりも自然や環境を全面に出していくべきでは。一緒に考えてやっていきたい。

答 町長 全ての人に情報を届けるのは難しい。その中で我々が考えるべき事は緊急事態のときに一人でも多くの人間に情報を伝えること。

②情報発信のあり方について

問 長野原町は、あらゆる媒体を駆使して情報発信を行っているが伝わらなさを始めとして課題が多い。

答 町長 町アプリの活用方法としてプッシュ通知や防災無線との連携による配信内容の見直しを実施中。今まで以上に情報が伝わるような方法を模索している。スマホ教室は引き続き開催する。デジタルを通して地域コミュニティを再構築していきたい。

問 スマホ教室は継続してほしい。今後は情報受信側（町民）に対する働きかけも大事なのでは。

答 町長 全ての人に情報を届けるのは難しい。その中で我々が考えるべき事は緊急事態のときに一人でも多くの人間に情報を伝えること。

問 DXが進んでいる現状からすると全ての情報発信媒体がWEBに変わってくると思う。早く慣れてもらうためにも、スマホやパソコンに積極的に触れる機会を創出すべき。今後ますます時代は変わっていくという認識の中で、町民にきちんと情報を配信して欲しい。

答 町長 NTTに「ささえい」という良いサービスがあり、来年度入れてみたいと考えている。多種多様な情報発信のやり方があり、その中で何がいいのか見極めていきたい。ぜひアイデアが欲しい。

問 町長 NTTに「ささえい」という良いサービスがあり、来年度入れてみたいと考えている。多種多様な情報発信のやり方があり、その中で何がいいのか見極めていきたい。ぜひアイデアが欲しい。

第二期長野原町まち・ひと・しごと総合戦略 達成度と私が注視する5つの事業の 次年度以降の取組内容について



ほしかわ
星河

あきひろ
明彦

議員

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

新計画策定に向け 準備を進めている

問

第二期長野原町ま
ち・ひと・しごと

総合戦略が最終年度を迎えます、各政策軸の実施状況「各施策のKPIの結果」と5つの事業について次年度以降の取組内容をお伺いします。

- ① ブランド力向上と雇用促進事業
- ② 交通手段の充実
- ③ 歴史まちづくりや歴史街道等の活性化
- ④ 再生可能エネルギーの活用推進
- ⑤ 外国人も含めた多様な方々の生活支援について

答

町長 第二期総合
戦略は今年度で最

終年度を迎えるが、次期総合計画が令和8年度からとなる為、整合性や効率性を図るため総合戦略



を1年延長し、2つを合わせた新計画策定に向け準備を進めている。各施策のKPIの進捗状況と達成度は20項目中15項目で達成。

- ① ブランド力向上と雇用促進事業。地域特産品としてのブランド価値を高める為には様々な要素が必要となり一朝一夕に確立はできない。今年度は小学生に野菜の苗を配布し、親子で育ててもらう試みを実施、農作物に関心を持ち魅力を醸成していきたい。今後は地域特産品を広めていく施策を実施していく。

- ② 交通手段の充実。タクシーチケット事業は次年度以降も継続、ハツ場周遊バスも運行会社は事業を継続する。

③ 歴史まちづくりや、歴史街道の活性化。旧狩宿本陣は必要な改修工事を引き続き実施、策定中の文化財保存活用地域計画で地域総がかりによる文化財の次世代への継承に向けた取り組みが促進される。

- ④ 再生可能エネルギーの活用推進。小水力発電は事業の採算性がとれないことから導入を断念した、住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金は継続実施。

⑤ 外国人も含めた多様な方々の生活支援。介護関係留学生受入れ支援、事業費の補助金を実施、グローバルスクール誘致による外国人スタッフの移住など想定されるので、地域における

コミュニケーションの場が必要となる。

問

具体的な施策の実
施内容を伺いたい。

農産物ブランド化はどのようなにして差別化するのか？水力発電は導入に向け再検討を。ハツ場周遊バスは使い勝手が良くなるようにルートの変更を検討。歴史街道の取組は？

答

町長 この場で深
い議論するには資

料も莫大になり時間も足りない、総合計画策定にあたっての説明会を開催し議員皆さんから意見を伺う場所をセッティングする。来年度の具体的な取組は3月の施政方針演説と当初予算の説明時にやりとりをしたい。



あさぬま かつゆき
浅沼 克行 議員



PTA活動の今後のあり方と 長野原町の現状について

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

子供たちの成長を支えて いけるよう検討していく

問 現在、全国においてPTAのあり方が問題となっています。背景には少子化の進展、共働き世帯の増加、価値感の多様化など、PTA活動をとり巻く環境は年々厳しくなっていると思います。群馬県においても「日本PTA連絡協議会」を退会することを検討しているように伺います。2022年度の赤字決算についての説明が充分になされていない事が問題のようであり、状況は良くないものとなっています。私自身、幼小中とPTAを経験し、その組織のすばらしさも理解しているつもりです。それと共に現在のそのようなPTAの状況を心配している一人です。長野原町におけるPTAの現

状をお伺い致します。

答 教育長 今年度より、地域全体で子供たちを支えていく体制として「学校運営協議会」を立ち上げました。これまでの保護者と学校という枠組みだけでなく、地域住民の方々にも参画していただき話し合いを行っております。今までのPTAの果たしてきた役割を念頭に、単に組織を廃止するのではなく多様化する社会に必要なものを見いだすことが大切だと思えます。保護者及び地域の方々に参加できる地域支援体制を構築し、子供たちの学校生活を守り、成長を支えていけるように検討して参ります。

問 PTA本来のあり方を見つめ直して欲しい、今後のPTAのあり方を考えていくことが必要であり現在だけでなく、将来にわたってのPTAのあり方を考えていく必要があると思えます。PTAの組織は父兄と教師の間をつなぐことが一番の目的であると考



答 教育長 忘れてはならないのは、PTAは子供たちのより良い教育環境を目指して、保護者と先生が力を合わせてそれぞれの教育課題を共有し理解を深めて子供たちを成長させること

が一番大切なことだと思っております。

問 子供たちのことを深く考えず、PTA活動を解散してしまった組織を再開することは難しいことだと思えます。形はいろいろ変わっても、今後このような組織をこれからも継いでいってもええたらと考えます。

答 教育長 PTA活動は地域のコミュニケーションの場であり、今まで行ってきた活動の良い面を伝えていただき、長く続けてきた活動も前例踏襲にこだわらず活動方法などを見直しながらかけていただけるとありがたいと思っております。





町、議会は各種団体、住民と共働で住みよい町づくりを急ぐべき



まきやま
牧山

あきら
明 議員

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

「生きる力を育む町」を 町民と共に創っていく

問

産業建設常任委員会と長野原町商工会、長野原観光協会との意見交換会の中で、人材確保や重機等の技術伝承が難しいことや長野原の玄関口の長野原草津口駅に何も無く寂しいなどの意見が出され、若い人を雇用したいと思っても、住環境など、地域全体の魅力が無いと都市部の方へ行かれてしまうなど意見として出た。一般社団法人つなぐカンパニー（以下、つなカン）の問題も出され住みよいまちづくりを急ぐ必要性を感じる。つなカンには、もつと主体的に移住定住の促進に関わっていただきたい。ハッ場周辺の観光や地域振興も関わってもらうことが絶対必要だと考えるが町長の考えは。

答

町長 各種団体や住民と協働でまちづくりをしていくことが重要。施政方針で「つなぐ」「育てる」「共に創る」という3つのテーマと8つの目標を乗り越えて生きる力を育む町を皆様とともに創っていきたくと述べてさせていただいた。今回実施された産業建設常任委員会の意見交換などは、有効で引き続き町も連携して行きたい。つなカンは町民が主体的に行う活動を応援し、人と地域を未来につなぐことを目的に発足5年目となる。新たな目標として観光による地域づくりを当該法人の柱と位置づけ活動を始めている。

また、常に問題視されてきたつなカンに対する人件費分の補助金だが、つなカンの活動が国に認められ国から交付金が出るようになった。したがって、来年度からつなカンに対する補助金はゼロになります。

問

意見交換会のなかで一番危機感を感じたのは若い人に技術を伝えたいが、なかなか雇用できない。このままだと除雪の体制も5年ぐらいしか維持できないという建友会の方の意見だった。移住定住を促進するのに向いている団体として一番情報豊富であるつなカンが向いていると考え

答

町長 つなカンは何かやらせるとか、やってもらうという組織では無い。移住定住促進をつなカンが担えば上手くいくようなことを言っているが、それだけの自信があるなら、つなカンのプロジェクトリーダーになってお手本を見せていただきたい。

問

町長の言うとおりだ。しかし残念ながら今は、時間的余裕と

答

町長 がっかりさせないでください。つなカンに来てくれる人間も時間的にも経済的にも余裕のない人ばかりです。（つなカンのような活動を出来ない）人間が議員の仕事は出来るのですか？

最後に問題を提起しました。意見交換に出席していたある団体から補助金の増額を求める陳情が上った。（3月議会でも議論する案件）この議論もされていない陳情に対して、牧山議員から担当課長に当初予算に盛り込んでおけという圧力があつた。これは町としても看過することは出来ない。そんな手法をとることが議員の言う各種団体と共につくる「住みよい町づくり」なのか。牧山議員と議会全体に問うて答弁とします。

経済的余裕が無くて夕方の会議には出られない。ヘルパーをとらなければならない。



ゆもと そういち
湯本 宗一 議員



町民の命と暮らしを守るため万全な備えを!! 災害時の対応とインフラの整備について

※一般質問は質問者の責任で編集されています。

平時からの備えを

問

近年の激甚化、頻発化する自然災害への備えは喫緊の課題。わが町の災害時における対応・対策、インフラ整備の現状は。また、災害に備えた対応と対策、インフラ整備について、今後の取り組みや計画を伺いたい。

答

町長 昨今の激甚化する自然災害への対応は、町の地域防災計画の備蓄計画により備蓄を進めている。また、各地区で自主避難計画策定を行い、住民主体の避難体制づくりを進めている。大規模災害発生時の対策では、国、県と連携を図り、関係団体と平時から情報共有を進める。電気やガス等のインフラ整備状況は、関係事業者

と締結した協定書に基づき対応する。水道及び道路等では、各施設管理者が長寿命化計画に基づき施設の耐震化を推進している。

問

昨年7月に発生した長野原・大津地区の断水。洞口地区においては5日間の断水。断水と同時に停電にでもなっていたら…。地域住民の方も大混乱していたはず。ついては、停電や火災等が発生する前に、電線付近の危険な枝葉・木の伐採を、水道や道路などのインフラ整備とあわせて進めてほしいが、町の考えを聞きたい。



答

町長 インフラ整備等は、限られた予算の中ではあるが進めていく。現在、町の財政状況は各段に良くなってきたおり、町の財政が良いつきに、集中的に進めていきたい。この数年間で進めたい。

問

大規模災害に対応し得る備蓄や避難所となる環境は。簡易トイレ、ベッドなどの備蓄。学校体育館のエアコン整備。災害時には弱い立場になる高齢者や障害のある人、女性、子供の視点にたった避難所運営が重要だ。

答

町長 備蓄品に関しては、この10年間で、以前に比べると充実してきている。72時間という時間を聞いたことがあると思うが、72時間、長野原町の町民全員を賄えるほどの備蓄ができる場所も量も不可能である。

やはり、個の力を信じ、各個人の意識を高めていかないと非常に難しい。昨年の1月に江戸川区の区長と国土交通省、26市町村の長が一堂に会して、広域避難と平時からの交流などを考える広域自治体連携ミーティングがスタートした。せっかく良いミーティングがスタートしたので、議員からのストレートな思い、アイデアなど賜りたい。



ここでは、議員や議会の主な活動状況をお知らせします。

6日 長野原町消防団出初め式
長野原町新年交歓会

8日 群馬県議会新春交流会
上毛新聞社新年交歓会
吾妻郡賀詞交換会

10日 長野原町障害福祉サービス事業所
指定管理者候補者選定委員会

12日 令和7年 長野原町二十歳の集い

16日 広報編集委員会

21日 第59回吾妻地区産業安全祈願祭並びに
事業所優良従業者表彰式

22日 総務文教常任委員会所管事務調査

24日 長野原町文化協会新年会

◇※◆◇※◆◇※◆◇※◆◇ 以下：予定 ◇※◆◇※◆◇※◆◇

29日 国県道改良等促進特別委員会
議会議員向けDX研修会